Kio 畿央大学

KIO NEWS

発行　畿央大学入学センター
発行日／2018年９月１日
2019年度
公募推薦入試特集号

2019年度入試スタート！

すすむ文高理低と資格系学科の易化

夏休みが終わったばかりですが、畿央大学では9月3日からAO入試の出願が始まり、いよいよ2019年度入試がスタート。10月後半からは公募推薦入試の出願も始まって本格的な入試シーズンに突入します。昨年度の入試で大きな変更のあった公募推薦入試ですが、今年はほとんど変更がありません。ポイントをしっかりおさえて自分に有利な方式でチャレンジすることが大切です。今回の「KIO NEWS」では2019年度入試全体の動向と公募推薦入試の攻略法、試験科目の傾向と対策を特集します。公募推薦入試受験予定の方は必見です。

2018年度私大入試の結果から

2018年度の私立大学入試は、大卒就職事情が好調に推移していることから引き続き文系学部に受験生が集まり、多くの私大で志願者が増加しました。一方で医療技術系や教育学部等の資格系学部・学科は減少傾向となっています。畿央大学は資格志向の強い大学として2～3年前までは右肩上がりの志願者数となっていましたが、反転後は志願者減少が目立っています。

もう一つの特徴は、合格者数の減少です。国が定員の厳格化を打ち出したことが理由で、大手大学を中心に合格者数の絞込が数年続いています。結果として文系学部の難化にさらに拍車をかけることになりました。影響は玉突き的に多くの大学に及んだため、中堅以下の大学を巻き込む総難化状態となっています。一方で医療系や栄養士課程等は元々入学者の定員超過率が低いため、影響はほとんどないようです。

畿央大学の公募推薦入試・一般入試ともに大幅減少

畿央大学の公募推薦入試は2018年度に大きな入試改革を行ったため、見かけの受験者数（のべ人数）は大きく増加しました。しかしながら、実受験者数でいうと3年連続で、しかも前年比で1割を超える大幅な減少となりました。学科別にみると唯一増加した人間環境デザイン学科でやや難化しましたが、他の4学科はいずれも志願者が減少しました。中でも理学療法学科は前年比2割の減少です。看護医療、現代教育の2学科も1割以上の減少で、健康栄養学科が微減となりました。

一般入試でも同様の傾向が続き、前期日程は入試改革を実施したにも関わらずのべ受験者数は微減で、実数では1割の減少となりました。学科別でも理学療法学科が前年比7割台に落ち込む等、公募推薦入試の流れそのままの結果となりました。前年との違いは中期日程、後期日程が増加したことです。全体の受験生は減少しましたが、畿央大学を第一志望と考える受験生の割合が高くなり、最後まであきらめずに受験していただけたものと考えられます。

2019年度入試の動向

2019年度入試全体では18歳人口の減少はあるものの、進学率の上昇などを背景に前年なみの受験者数になると予想されます。一方、直近の模試の動向によると『文高理低』の進行は少しゆるやかになりましたが、大手私大の文系学部では成績上位者の流入が加速しているようです。文系私大の総難化に加えて、2年後に迫る入試改革の影響もあり、受験生の安全志向が強くなっているようです。反対に看護・医療系や教育系等、資格志向型の学部・学科には引き続き受験生が集まっていません。私大全体の大きな流れの中で畿央大学の志願者数は減少が続くと考えられます。

畿央大学の理学療法学科は近畿地区の私立大学で最初に誕生しました。これまで高い難易度が続いてきましたが、さすがにこの数年で倍率が下がってきました。受験生の医療技術系離れにもかかわらず、様々な医療系学科が増えていることが理由です。2019年度も理学療法、作業療法などの学科ができる予定で、さらに志願者の分散がすすみそうです。

看護系の人気は根強くいまだに受験生は増加傾向にありますが、新設による定員増がそれを上回っているという感じです。2019年度も近畿地区では2大学の設置が予定されており、志願者の減少するところも出ると予想します。畿央大学でも模試の結果では減少予想となっています。

管理栄養士養成課程もこの2～3年は人気の圏外に置かれています。元々女子大に多い系統で、女子大の人気が下がっていることも要因の一つですが、畿央大学のような共学の大学でも昨年は減少しています。必ずしも景気だけに左右される学科ではありませんが、しばらくは今の傾向が続くかもしれません。

長く続いた理系ブームの中、建築系の学科も人気化しました。建築系やデザイン系の人気は好景気に強くオリンピック等他の要素も影響しているので、しばらく人気は続きそうです。人間環境デザイン学科は定員が少ないため、ちょっとしたことで志願者が集中すると難化することがあるので、募集人員の少ない日程は要注意かもしれません。ただし2019年度は定員が10名増えるためチャンスとなりそうです。募集人員の多い公募推薦や一般入試前期日程に向けてしっかり対策をたてることが大切です。

主に小学校の教員を養成する教育学部、こども学部等は大学が急増したことに加えて、教員採用の先行きにやや不安があることから、各大学で志願者が急減しています。畿央大学は教員採用試験の合格率の高さが定評となっていますが、それでも志願者は年々減少傾向となっています。模試のデータでは大幅減の予想となっていますが、2019年度はさらに複数の新設予定の大学があるため、昨年に続いて広き門となる可能性が高いといえます。

2018年度 私立大学入試 学部系統別志願状況（近畿地区）

学部系統	2016 志願者数	2017 志願者数	2018 志願者数	18/17	18/16	*合格者数 18/16
文・人文	149,407	161,378	178,006	110%	119%	87%
社会・国際	72,482	86,051	94,223	109%	130%	86%
法・政治	65,718	67,693	75,865	112%	115%	86%
経済・経営・商	151,597	180,403	212,445	118%	140%	93%
理	26,925	27,551	28,554	104%	106%	89%
工	121,924	130,111	137,456	106%	113%	96%
農	15,261	18,680	17,124	92%	112%	100%
医・歯・薬・保健	67,102	68,683	66,924	97%	100%	100%
生活科学	21,239	20,259	19,434	96%	92%	97%
芸術・スポーツ科学	18,520	21,454	22,177	103%	120%	102%
総合・環境・情報・人間	28,504	30,897	34,406	111%	121%	82%
全　体	738,679	813,160	886,614	109%	120%	91%

（予備校データより編集）

2019年度 畿央大学入学試験日程

試験区分		試験日	合格発表日	第1次入学手続	第2次入学手続
AO入試	1次選考	9/23(日)	9/29(土)	–	–
	2次選考	10/14(日)	10/20(土)	11/9(金)	11/30(金)
公募推薦入試	A日程	11/10(土)	11/20(火)	12/14(金)	1/10(木)
	B日程	11/11(日)			
	C日程	11/18(日)	11/24(土)		
一般入試	前期A日程	1/22(火)	2/3(日)	2/20(水)	3/11(月)
	前期B日程	1/23(水)			
	前期C日程	1/25(金)			
	中期日程	2/19(火)	2/24(日)	3/11(月)	3/22(金)
	後期日程	3/10(日)	3/16(土)	3/22(金)	
センター試験利用入試	前期日程	大学独自試験なし	2/9(土)	2/22(金)	3/11(月)
	中期日程		2/24(日)	3/11(月)	3/22(金)
	後期日程		3/16(土)	3/22(金)	

2019年度 入試の主な変更点

入学定員の拡大（認可申請中含む）
- 理学療法学科 70→76名
- 看護医療学科 90→94名
- 人間環境デザイン学科 50→60名

センター試験利用入試
- 前期日程で英語重視
  - C2方式で英語必須に
  - C2・C3・C4方式で英語の配点アップ
- 英語の外部資格試験スコア保持者への特例措置変更
  - 満点への換算から加点制（2段階）へ

その他
- 一般入試+センター試験利用入試同時出願時の検定料免除
  - センター試験利用入試2方式分免除から3方式分免除に拡大

2019年度 公募推薦入試攻略のポイント

2018年度入試で大きく変わった公募推薦入試ですが、傾向が少し見えてきました。特色のある入試を攻略するためには、入試制度をしっかり理解して最も有利な方法でチャレンジすることが大切です。以下に詳しい入試方法と昨年度入試結果の傾向をまとめました。入試を知って、自分を知って、自分の個性をいかした方法でチャレンジしてください。

3つの合否判定方式の特徴をいかす

公募推薦入試の方式は全部で3つ。A方式の出願が必須ですが、他の2方式をうまく活用することがポイント。
以下に3つの方式を比べてみました。

必須 A方式（調査書プラス）
基礎学力テスト 100点 100点 ＋ 調査書 50点（評定平均値×10） ＝ 250点満点
基礎学力テスト（200点）に、調査書（全体の評定平均値）を10倍したものを加えて250点満点で判定します。

S方式（高得点科目重視）
基礎学力テスト 高得点科目 200点 100点 ＝ 300点満点
基礎学力テストで受験した2科目のうち、高得点1科目の得点を自動的に2倍にして300点満点で判定します。評定平均値は点数化せず、基礎学力テストの得点のみで判定します。

特色方式（調査書＆活動評価プラス）
基礎学力テスト 100点 100点 ＋ 調査書 75点（評定平均値×15） ＋ 活動評価※ 25点 ＝ 300点満点
基礎学力テスト（200点）に調査書（全体の評定平均値）を15倍したものと活動評価※（25点）を加えて300点満点で判定します。高校での成績と、学業以外の諸活動をいかすことができます。

つまり、評定平均値に自信のない人は「S方式」を、評定平均値に自信のある人や高校での活動実績がある人は「特色方式」を併願することで、合格可能性が高くなります。

●A方式不合格で「S方式」合格となった例（テストと評定平均値）
看護医療 66+85+31（評定平均値3.1×10）＝182 A方式 不合格
66+85×2＝236 S方式 合格
人間環境 55+90+33（評定平均値3.3×10）＝178 A方式 不合格
デザイン 55+90×2＝235 S方式 合格

●A方式不合格で「特色方式」合格となった例（テストと評定平均値と活動評価）
理学療法 55+84+47（評定平均値4.7×10）＝186 A方式 不合格
55+84+70.5（評定平均値×15）＋10＝219.5 特色方式 合格
現代教育 55+84+41（評定平均値4.1×10）＝180 A方式 不合格
55+84+61.5（評定平均値×15）＋15＝215.5 特色方式 合格

※特色方式の活動評価について

特色方式では、学業以外の右記の評価項目①～④について、25点を限度に点数化します。ただしすべて高校在学中の活動実績に限ります。
（注）1 右記は評価する基準です。各種活動の実績・スコア等によって点数化します（評価点の詳細は非公表）。
2 複数の項目を申請することはできますが、最も点数の高いものを採用し、重複加算はしません。

評価項目	基準
①生徒会活動等	・生徒会役員（会長・副会長・書記・会計）を1期以上務めた者 ・文化祭実行委員長または体育祭実行委員長を1期以上務めた者
②課外活動	・高等学校などの公認部活動団体に2年以上在籍した者（同一の部活動） ・高等学校などの公認部活動団体（構成人数10人以上）で部長または主将を務めた者
③海外留学	・6ヶ月以上の海外留学経験者
④外部検定	・「実用英語技能検定」準2級以上 ・「TOEFL iBT®」40点以上 ・「TOEIC®L & R」400点以上 ・「GTEC CBT」720点以上 ・「GTEC（3技能）」500点以上 ・「GTEC（4技能）」840点以上 ・「TEAP（4技能）」200点以上 ・「IELTS（Academic Module）」4.0以上 ・「ケンブリッジ英語検定」KET以上 ・「実用数学技能検定」2級以上 ・「日本漢字能力検定」2級以上

複数日程受験のすすめ

複数日程を受験した受験生の得点は、日によってバラツキが見られます。一般入試に比べて時期の早い公募推薦入試では、その傾向が特に強いようです。結果として公募推薦入試では**複数日程受験者の合格率と1日だけしか受験しなかった受験生の合格率の差が大きくなっています。**

2018年度公募推薦入試A・B・C日程における複数日程受験者の合格率

	実人数	理学療法	看護医療	健康栄養	人間環境デザイン	現代教育
いずれか1日程受験	233人	20.6%	21.9%	14.3%	17.2%	16.9%
複数日程受験	664人	29.6%	29.6%	26.2%	20.0%	34.7%

※検定料の計算方法について
①1回の試験で最大2学科まで出願可能ですが、検定料は1学科分です。
②検定料はA方式だけなら35,000円で、Sまたは特色方式を併願する場合は＋10,000円です。
③複数日程に出願すると検定料が割引になります。（2日間 -10,000円、3日間 -25,000円）

●A日程・B日程・C日程のうち1日だけ出願する場合

A方式のみ	35,000円
A方式＋S方式またはA方式＋特色方式	45,000円
A方式＋S方式＋特色方式	55,000円

複数の方式に同時に出願する場合2方式目以降**1方式につきプラス10,000円**で出願できます

●2日間出願する場合
1日目の入学検定料 ＋ 2日目の入学検定料 － 10,000円
2日間の入学検定料の合計から **10,000円割引**

●3日間出願する場合
1日目の入学検定料 ＋ 2日目の入学検定料 ＋ 3日目の入学検定料 － 25,000円
3日間の入学検定料の合計から **25,000円割引**

※出願はすべてネット出願です（検定料は自動計算で表示されます）。

公募推薦入試では、各学科の合格者のうち上位10%程度を選考し、奨学生として年額43万円（授業料の半額相当）を原則として4年間給付します。2～4年次では入学後に後期学納金を徴収する際に上記金額を減免することで給付にかえますが、入学年度のみ、第2次入学手続納付金（前期学納金）から減免して入学手続時の負担を軽減します。

2019年度入試問題傾向と対策　英語・数学・国語

受験生にとって大きな関心事は志願者数の予想と入試問題の傾向です。今回は公募推薦入試で出題される英語・数学・国語の３科目について傾向と対策をまとめてみました。一般入試からお考えの方も参考にしてくださいね。

英語

大設問３問に小問が26問程度の出題で、前半は発音・アクセントと会話文、文法・語法の問題など、後半は並べ替えの英作文と450～500ワード程度の長文読解という構成です。標準からやや難というレベルで、昨年の平均点は50点から55点前後でしたが、過去にはやや難しい回もありました。2019年度は昨年並みの難易度になる可能性が高いでしょう。後半の問題はやや難しいので、前半の問題でとりこぼさないことが、合格への必須条件となります。

センター試験と似たパターンなので、過去の問題を見て慣れておくことと、センター試験の問題集などでたくさんの問題にあたって、語彙や語法の知識を増やす努力が必要です。また整序英作文では例文の暗記が効果的ですが、イディオムの豊富さも重要になります。長文読解の英文はあまり馴染みのないテーマも見受けられます。色々なテーマの英文にふれることと、日頃からテレビや新聞などで健康や教育、福祉などといった問題に幅広く関心を持つように心がけてください。

公募推薦入試は科目数が少ない分、英語の結果が合否に影響を与えることが多いようです。また設問数が少ない分、1問ごとの配点が高くなります。十分な対策をして本番にのぞんでください。

数学Ⅰ・A

昨年と同じく数学Ⅰは全範囲、数学Ａは「場合の数と確率」「図形の性質」からの出題です。過去の出題でわかるように形式はセンター試験と似ていますが、答えを数字でうめていくものと、選択肢の中から選ぶものがあります。今年も併用と考えてください。大設問数は３問（一般入試は４問）で、第１問が分野をこえた小問集合、第２問・第３問が「２次関数」「図形と計量」「場合の数と確率」など、1つのテーマや図形など分野融合の出題となるでしょう。過去の問題を見てもわかるように、毎回ほぼすべての分野から出題されています。今年もすべての範囲からまんべんなく出題されると考えてください。また、テーマ問題では後半の小問にやや難度の高い問題が含まれる傾向がありますから、時間配分等に注意が必要です。

公募推薦入試は一般入試に比べて問題数が少なくなっていますが、逆にいうと１問あたりの配点が大きくなってしまいます。ケアレスミスには十分注意をする必要があります。特に計算力の強化を十分こころがけてください。数学は高得点がねらえる反面、失敗することもよくある科目です。出題範囲は限られていますから、計画的に全範囲を学習しましょう。不得意分野をしっかり訓練しておくことが大切です。

国語（現代文）

大設問３問で、内２問が読解という形式は公募推薦入試も一般入試も同じで、2010年度以降変わっていません。小問数は24問程度です。第一問は国語常識で言語知識や文学史を問われます。漢字では同音異字、同音異義語、難読語、四字熟語などがよく出題されています。他にも四字熟語の意味や慣用句、故事成語、文学史など様々ですが、過去に出題された形式はすべて今年も出題の可能性があると思ってください。中でも頻出は文学史ですが、時代が狭いので作家は限られます。漢字練習帳や国語便覧などを利用して得点源にしておきましょう。

２問出題されている読解問題は、評論と小説から１題ずつが基本ですが、比較的最近の作品が多い傾向があります。いずれも2000字～3500字程度の文章が多く、長いものもあるので、センター試験の問題集などで慣れておくと良いでしょう。選択肢は多くが５択で文章もやや長く、紛らわしいものが多くなっています。第一印象で決めてしまうと間違えることもあるので、正確に、注意深く読むことが重要ですが、時間配分にも注意することが大切です。

国語の平均点は60点前後と他の科目に比べて高いことが多いですが、80点以上の高得点者はけっして多くありません。また公募推薦入試では小問の数が少なく、１問ごとの配点が高いのは他の科目と同じです。しっかり確認して、漢字の問題ひとつでもケアレスミスのないよう、注意が必要です。

英語長文読解のコツ

①英語の文章は一つの段落（パラグラフ）に一つのトピックが書かれているのが普通。さらにそのトピックは、各段落の最初の一文に明示されていることが多い。各段落の最初の文章だけを読んで、長文全体の大意を推測する訓練をしてみよう。問題を解きやすくなるし、時間の節約にもなる。

②長文読解が苦手な人は、長文問題の文章はあくまでも問題を解くためのヒントだと考えてみよう。知らない単語や意味のわからないところがあってもあわてないこと。問題を解くための鍵さえ見つかれば、細部がわからなくても大丈夫。落ち着いて問題に取り組もう。

2019年度　AO入試出願開始!（9/3～9/14）

AO入試の出願が始まっています。AO入試とひと口に言っても内容は様々ですが、第一志望の大学であれば、チャンスは無駄にしたくないところ。

畿央大学のAO入試の特徴は、①幅広くどなたでも出願が可能な3種類の方式(複数方式の受験も可能)　②他大学との併願が可能　③1次選考と2次選考の2段階選抜(検定料も2段階)など。個性的で将来性のある皆さんのご入学を期待しています!

1次選考 出願期間 9/3(月)～9/14(金) → 1次選考 実施 9/23(日)(セミナー方式のみ) → 1次選考 合格発表 9/29（土） → 2次選考 出願期間 10/1(月)～10/9(火) → 2次選考 実施 10/14(日) → 最終 合格発表 10/20(土)

〈1次選考〉

リーダーシップ方式	高校在学中に意欲的に取り組んだ活動について、「自己アピール文(800字以内)」と活動内容を証明できる資料を提出してください。
グローバル方式	英検、TOEFL® など英語運用能力・技術において資格や一定の水準を有し評価を得ている人、または海外留学やその他の体験等を通じ、国際的感覚や幅広い視野を有する人。
セミナー方式	畿央大学の教員によるセミナー（学部別授業）を実施し、その内容に関する課題を出題します。試験時間内に解答し提出してください。（約60分授業＋60分試験）

上記のほか全員に「志望理由書（600字以内）」を課します。

〈2次選考〉 1次選考合格者のみ

全方式共通	①小論文（1200字以内）　またはデッサン※ ※デッサンを選択できるのは人間環境デザイン学科志望者のみ ②面接（個人面接形式）

配点・判定方法

1次選考：A 100点（リーダーシップ方式 グローバル方式 セミナー方式）＋ B 段階評価（A~E）（志望理由書）

＋

2次選考：C 100点（小論文またはデッサン）＋ D 100点（面　接）

＜1次選考＞　AおよびBを総合的に評価して1次選考合格者を決定します。
＜2次選考＞　A・B・C・Dおよび調査書を総合的に評価して最終合格者を決定します。

pickup 授業 〈教職課程〉

学校インターンシップ

幾央大学は近隣12市町村の教育委員会と連携して「学校インターンシップ」を実施しています。大学から近く通いやすい小学校や幼稚園で先生方の補助をしながら、教育実習の前に教員と子どもの両方の視点から現場を体感できます。インターン先では、授業の補助の他に、勉強のサポートや特別なフォローが必要な児童への支援などを行います。また、学年の違う２クラス掛け持ちや、イベントの運営補助として運動会や社会見学などの学校行事にも参加できます。

週に一度、継続して子どもたちと関わることができるので、励ましたり、褒めたり叱ったりして成長していく子どもの様子を見ることができます。教育実習とは別に長期にわたる現場経験を積むことで、自分の特徴や教員になるための課題を理解し、なりたい教員像を探る絶好の機会となっています。

学校インターンシップに参加した学生の声

現代教育学科２回生 Ｋさん

通常学級で、主に特別なサポートが必要な児童の支援員として活動していました。大学の授業で学んだことを行ってみて、自分の出来ていることと改善が必要な点が分かりました。学校に特別支援を担当されている先生は何人かいらっしゃいましたが、付きっきりではありません。自分がクラス担任になってクラス全体を見つつ個別対応をすることになった場合も想定して、全ての子どもにとって有効な「ユニバーサルな」学級経営について考えていきたいです。

※学校インターンシップは、教育学部２年次の配当科目として単位認定されていますが、養護教諭や栄養教諭、家庭科教諭をめざす健康科学部の学生も参加することができます。大学では、４月に説明会と事前研修、その後も定期的に中間報告会や事後報告会を行い、学生が現場で学んだことを発表しあい、振り返ります。

ミニオープンキャンパス in 幾央祭

第16回 幾央祭
今年のテーマは『掌（てのひら）』手と手を取り合い、最高の学園祭にします！

吉本お笑いLIVE
10/21(日)
10:00 ～ 11:00
無料

かまいたち　ダイアン　span!

10/20(土)21(日)

13:00▸15:00 12:30 受付開始

主なプログラム
- 学科紹介ガイダンス
- 入試ガイダンス
- 個別相談 など

大学祭で盛り上がる2日間、ミニオープンキャンパスを同時開催します。
ガイダンス参加者には模擬店で使える金券とドリンクをプレゼント！

幾央大学とつながろう

入試情報のほか、キャンパスライフ、教育や研究、社会貢献などの取り組みや在学生、卒業生の活躍の様子を公式SNSアカウントで情報発信しています。

LINE「幾央大学」
Twitter「幾央大学 @KIO_University」
Facebook「幾央大学／ Kio University」
YouTube「KioUniversity」